

広報 のあさひ

No. 52

昭和45年5月10日



《移動保育所》

「みなさんお早ようございます」
「先生お早ようございます」「はいよくできました。みなさん元気がいいですね」……これは、今年から始まった移動保育所のひとコマである。町立保育所に通えない白倉や大暮山など町内五つの地区を週一回ていど保母さんが巡回し、公民館などを会場にして移動保育所が開かれる。

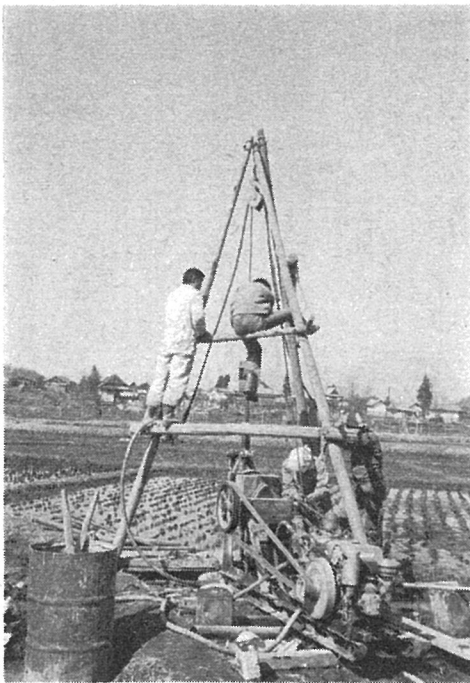
少しでも保育の機会均等をはかって行く、というのがねらいであるが、どこの会場も十分な施設もなく、本当に効果のある保育所にして行くにはまだ多くの問題が残されている。しかし集まった幼児たちはみんな元気で、初めて見聞きする保母さんの話や紙芝居にすっかり夢中になって楽しんでおられた。

〈……大暮山地区で……〉

新しい
まちづくり

開発センターの敷地きまる

8月中旬には着工



新年度の町予算(一般会計)は四億一千五百十八千円でスタートした。山村開発センターの建設、林業構造改善事業、各種道路網の整備などを柱に、新しい町づくりがすすめられようとしている。

とくに、山村開発センターの建設については、議会内に特別委員会を設け、建設場所、建物の構造などについて検討を行ない、本当に郷土開発のセンターとして活用できる立派なものをつくらうとその準備を急いでいる。そこで現在までに明らかにされたセンターの構想などを紹介してみたい。

センターと庁舎を併設

総合的な機能を備える

山村開発センターをどこに建てるか、といった場所をきめることも大きな問題だが、どんな構造のものもを建設するかということも重要なことであった。

「センターと庁舎は別々に建てるべきだ」といった意見もあった

が、町議会では今後の維持管理や利用効果などからみても、センターと庁舎を併設して建てる、というちおうの結論を出している。そのためには、現在の役場敷地ではどうしても狭い。十分な駐車場や広場もとれる場所に転すべ

センター建設予定地略図



きである。その方がまた建設費もかなり安くなる。と言ったことから「移転」が決定的となった。しかし、地元商店街からの「移転反対」の要望もあり、他に移転するとしても現在地から五百米以内の場所に……ということでは建設場所の選定が行なわれてきた。

一方、広く一般町民の意見をお聞きして、よりよい開発センターを建設しようと各地区で町政座談会が開かれた。座談会では①将来のことを考え十分な広さのある場所に移すべきだ。②町民みんなが利用できるセンターをつくってほしい。といった意見が多く聞かれた。

た。

町当局では「移転すべき」という特別委員会および議会の意向に沿って、いくつかの候補地を選び地下ボーリングを行なって地盤の状態を調べたり、建設場所の検討を行なってきた。その結果、地盤の状態、交通の便などから言っても、宮宿中心街の南側である国道側が最適地である、といった結論が出た。

さる五月九日に開かれた臨時町議会で、正式に建設場所の決定が行なわれ、直ちに敷地の買収、整地を行なって建設の準備にはいつている。

地域開発の拠点として

ここで、山村開発センターとはいったいどんなものなのか少し紹介してみたい。

最近の高度な経済成長によって

農業と他産業、都市と農村の所得格差はますます広がるばかりである。そして、激しい人口の流出による過疎化現象や人口の老令化など、いまの農山村は大きな問題に直面している。こうした情勢に対処するためこそから国で考えだしたのが、この山村開発センターの建設である。

つまり、生活環境の整備や社会生活機能の維持、産業の開発などをおしすすめて行くための中心と

なる施設なのである。

構造は鉄筋

コンクリート造り

ところで、どんな構造のセンターが建設されるのかであるがまだはつきりした設計ができていないので、くわしい点は明らかでないが、現在事務局で考えているものとしては鉄筋コンクリート二階建て、延べ床面積三千四百三十七平方米(庁舎分も含む)総工費一億五千万円前後の規模となる。

内部には、開発センター分として四百人前後の集会ができる大ホ

ールはじめ事務室・談話室・娯楽室・宿泊のできる生活実習室・経営指導室・技術センター・共同浴室・会議室(二)食堂・図書室・保健相談室・調理実習室などがつくられる。

また庁舎分としては、事務室・職員休けい室・書庫・町民待合室・応待室・町長室・計算タイブ室・議会事務局・正副議長室・議事堂・会議室などが予定されている。

以上のような構想にもとづいた近代的な開発センターが、やがて完成する。しかし、ここで考えな

山にメスを入れる

林業構造改善に着手

七十割以上を山地で占められて

いる朝日町にとっては、この広大な「山」をどう生かすかが、今後の郷土発展の大きなカギだとも言えよう。

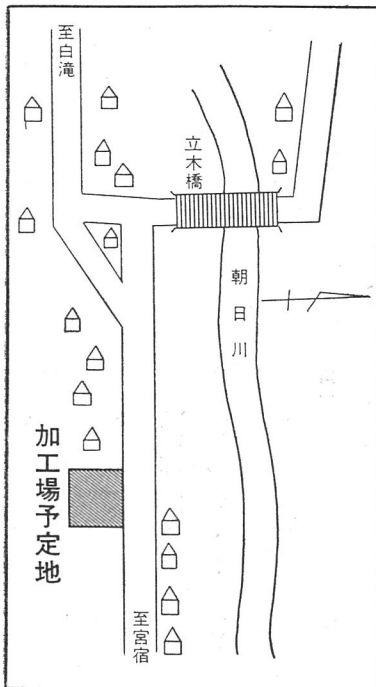
今年から四十七年までの三カ年間で、総事業費六千三百万円を投じて林業構造改善事業が行なわれる。初年度の今年には長根林道の開さく、なめこ加工場の建設などが予定されているが、その主な内容を紹介してみたい。

長根林道を開さく

この林業構造改善事業の中で、もっとも大きな事業は林道の開さくである。造林をすすめたり、育林や素材の搬出などを行なうにも交通網である林道整備が一番大切なわけで、こんどの計画でも五本

郵便局だより 記念切手発行のお知らせ

発行予定年月日	名 称	申込略称
四・二〇	切手趣味週間	四五趣味
四・三〇	国立公園(吉野熊野)	吉野
六・	日本万国博覧会記念(第二次)小型シート(七・一五・五〇の組合せ)	万博
七・一〇	古典芸能シリーズ第一集(歌舞伎)	歌舞伎
七・二六	日本ガールスカウト運動五〇周年記念	ガール
八・	国立公園(未定)	八月
八・一七	犯罪防止および犯罪者の処遇に関する第四回国際連合会記念	犯罪
九・	国立公園(未定)	九月
一〇・六	国際文通週間	四五文通
一〇・	第五回国民体育大会記念	二五国体
一〇・二〇	電信創業二五周年記念	電信
一〇・二四	国際連合創設二五周年記念	国連
一一・	第一九回国際職業訓練競技大会記念	職業
一二・	昭和四十六年年賀	四六賀
四六・三	国立公園(未定)	三月



特殊林産物として山菜・なめこしいたけなどがあるが、最近一ツ沢や白倉・立木などの地区でなめこの栽培がさかんになってきている。生産量も年々のびており農家の大きな収入源の一つとなっている。しかし、加工施設がないために、すべて生で出荷しなければならず、有利な販売をするためにも加工施設の設定が強く望まれていた。こんどの事業では、林産物の加工施設として立木地内になめこの加工場を建設する。

現在予定されている事業費は、五百二十七万三千円で、ボイラー・殺菌釜・脱気装置、包装機などの加工用機を備えた軽鉄骨一部二階建ての工場がつけられる。今年の秋までには完成させ、早速ことしの分から加工を行なう計画でいるが、製品はすべて西五百川農協を通じて系統販売されることになっており、数年後には年間三十トン以上の缶詰加工を行ない所得の増大をはかっているという。この人たちは意欲をもやしている。

立木になめこ加工場

の林道開設が予定されている。今年着工される長根林道は、図にもあるように大谷の長根地区に幅四米、長さ一千五百米の林道を開設する。総事業費は九百万円ですでに現地の測量も終わっており、七月切めに着工、十一月末頃までには、トラックも自由に出入る立

派な林道ができあがる。この長根地区には六分の国有林をふくめ、五十畝近い林地がありこの林道ができれば、造林・育林素材生産なども容易になり、同地区の林業が大きく振興されるものと期待される。

新区長名一覧

○印は新任

部 落	氏 名	部 落	氏 名
本町	安藤 敏雄	高田	八郎
西町	武田 雅忠	沼部	伝利
栄町	布施 芳太郎	石須	庸太郎
助町	鈴木 久次郎	立木	阿部 三右衛門
大町	成田 半七	白倉	渡辺 長次郎
元町	武田 智三	一ツ沢	阿部 鶴助
前新	宿 今	太郎	大相 太亮
四小	柴 鈴	松	加藤 富次郎
沼大	鈴木 喜久次郎	大舟	阿部 正男
古送	清野 政雄	今大谷	阿部 国利
下水	渡辺 光枝	二三四	高井 木田
杉松	岡崎 芳伝	五五六	白岡 藤山
宇津	花安 喜代太郎	六七八	志村 堀武
大雪	柴田 重四郎	中真舟	田村 久藤
常夏	佐阿 哲士	栗川	川久 藤木
西八	海佐 吉満	大暮	山小 林
能	伊	沼	小

新しい広報委員が

きま

このほど町広報委員の任期満了による改選がおこなわれ、それぞれ次の方々が新しい広報委員として志願町長から委嘱された。また広報委員長には菅井雅氏(管理課長)が再選された。

新しい広報委員長

広報委員長菅井雅 同副委員長鈴木久夫(大谷中) 同白田辰雄

(大谷) 委員浅岡米五郎(宮宿農協) 古沢開(大谷農協) 柴田千代(長沼) 浜田しげの(大谷) 川村新一(宮小) ○鈴木正巳(松程)

多田秀雄(本町) ○清野正男(古槇) 堀敏夫(大谷七) 鈴木しづ子(松程) 堀正二郎(中沢) 柴田喜久雄(助ノ巻) 細谷たみ(上郷)

長岡玉治(西農協) 鈴木圭治(和合) 白田文蔵(税務課) 大沼秀男(建設課) 鈴木信吉(農委) 阿部浩(議会) ○長岡秀行(病院)

○登坂盛高(教委) 渡辺良(住民課) ○佐藤千良(同) 原喜内(振興課) 相座孝雄(西部出張所) 渡

町メリヤス同業会発足す

谷一俊(北部出張所) 阿部美喜男(管理課) 渡辺隆生(同) ○印は編集委員を兼ねる

町内にある十一のメリヤス加工所の事業主が、お互いに連携を密にし協力しあって、さらに飛躍的な企業発展を期せうと、さる三月十四日に「朝日町メリヤス同業会」を組織し、活発な活動を行なって行くことになった。

会長 大野孝 副会長 布施計衛 会計 熊谷栄作 理事 藤田英一



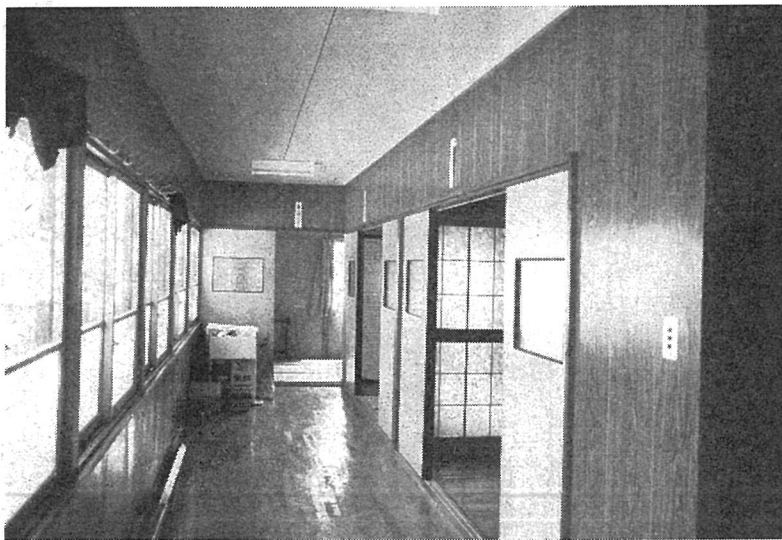
ハツ沼生活改善センター

406万円で完成

このほど、ハツ沼地区に待望の生活改善センターが完成した。同地区には、こうした施設がほとんどなかっただけに、地区民の喜びは大きく、区民の寄りどころとして、あるいは生活改善や部落振興をする拠点として今後の活用が期待される。

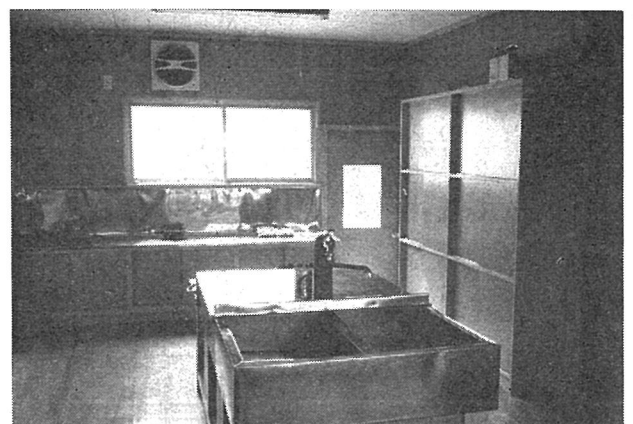


写真・座談会や研修会の場としても毎日のように利用されている。



内部のつくりも、明るく、ゆったりとした構造で部落民のいいの場ともなっている。

近代的な台所もあり、調理実習などにも使われる。





明日の郷土を考える

《その10》

おらが部落の生きる道

まるで津波のように押しよせてきた過疎化現象。朝日町においても、昭和三十五年から九年間に二千三百四十六人、十五%もの人口減少が見られるのである。最近になって少しでもこの過疎化をくいとめようといった動きが活発になってきた。町でも振興対策協議会をつくり、住民意識調査や労働力調査を行なった。そして企業誘致をすすめ、道路交通網の整備、山村開発センターの建設、林業構造改善の実施、移動保育所の開設など、積極的な町づくりと取り組んでいる。しかし、ひとり町だけが努力しても、町民のしあわせが約束されるわけではないし、過疎現象がなくなるわけでもない。それにはその地域にしっかりと根をおろした人たちの強い熱意と努力がどうしても必要になってくる。今月は、今後の発展が期待されている白倉部落をたずね、「白倉の今後の生きる道は何か」をテーマに同地区の青年たちに話あっていた。

条件を生かした農業を

話しあいは最近新しく建設された白倉生活改善センターを会場にして行なわれた。集まった人たちは、これからの白倉部落の担い手である二十代三十代の青年たち十名ばかり、部落長の渡辺長次郎さん、それに町から助言者としてかけつけてくれた小林助役さんといったメンバーであった。

白倉は現在三十七戸あるが、そのほとんどが農業。しかも出かせぎと農業の兼業である。耕地面積は田畑あわせて一畝未満が十七戸で四十七%、一〜二畝は十一戸で二〇%余り、二畝以上はわずか八戸といったように経営規模はきわめて零細だと言える。

昨年行なわれた住民意識調査の結果を見ると、大半の人は「なんとかなる」とも白倉で暮らしたい「ことを望んでいる。そして、それらの人たちは「今の農業をもちたてていきたい」と考えている。しかし、零細な経営規模、山地という立地条件などを考えるとき、現在のままの姿ではやって行けなくなることは目に見えている。やはり何かをやらなければならぬ。何か新しい農業のやり方を考えなければならぬ、と考えている人たちは少なくないようだ。

「うちでは水田と養蚕、それに出

かせぎとでなんとかやっている。しかし、これから何をやって行けばよいのか分らない」

「養蚕をもう少し拡大したいと思っているが、なかなか進まない」

「田んぼはほとんど山田で、機械化などによって省力化して行くことが難しい」

といった悩みを青年たちは語る

絶対必要な協業化

「白倉は立地条件が悪いので機械化ができないと言われたが、もつと白倉の条件にあった農業を考えて行くべきではないか」

「条件にあったものと言っても、いったい何を作ればよいのか分らない。葉たばこをやっている人も

確かに白倉は山地であり立地条件には恵まれているとは言えない。しかし、それは白倉に限ったことではなく、朝日町の大半が山地であり、更に条件の悪い所ですら立派に農業を営み、多くの収入を得ている人たちのいることも忘れてはならないだろう。

「もう一つの悩みとしては水がないということだ。昨年仲間たちが共同して和牛の放牧をはじめようとしたが、十分な水がないことや親たちの反対などもあって断念してしまつた」

「溜池をつくるとか、遠くから水を引いてくるとかできないのか」

「何十頭、何百頭も飼うようにするには溜池ではだめだ。四キロぐらい離れた大石沢の支流からもってくることはできるが、莫大な費用がかかるだろう」

青年たちは、これからの白倉をどうするかを真剣に考えており、悩んでいることを熱心に語られる白倉部落の上部には白倉台地ともよばれる広大な原野がある。それを生かさないではこれからの白倉はありえない。と誰もが思っているようだ。しかし、それをどう

「確かにそうかも知れない。しかし、白倉は交通の便が悪い。それ

に積雪が多いのは最大の障害だ」「乳牛を買っている人もいるが冬期間の交通途絶で悩んでいる」

「雪が多いのはしかたがない。しかし、もつと雪の多い所でもやっている所はあるのだから、白倉でやれないことはないだろう。広いこの土地を生かすには乳牛の多頭化をやり、大規模な酪農を考えるべきではないか。交通確保の問題は、立木から部落までの道路を拡幅して自動車自由に通れるようにする。冬の除雪をもう二三回多くやることによって解決するのではないか」

「その通りだ」

「もう一つの悩みとしては水がないということだ。昨年仲間たちが共同して和牛の放牧をはじめようとしたが、十分な水がないことや親たちの反対などもあって断念してしまつた」

「溜池をつくるとか、遠くから水を引いてくるとかできないのか」

「何十頭、何百頭も飼うようにするには溜池ではだめだ。四キロぐらい離れた大石沢の支流からもってくることはできるが、莫大な費用がかかるだろう」

青年たちは、これからの白倉をどうするかを真剣に考えており、悩んでいることを熱心に語られる白倉部落の上部には白倉台地ともよばれる広大な原野がある。それを生かさないではこれからの白倉はありえない。と誰もが思っているようだ。しかし、それをどう

「確かにそうかも知れない。しかし、白倉は交通の便が悪い。それ



やって生かすのか。放牧など和牛の肥育、酪農、たばこ、養蚕など

十分な話しあいを

「今まで話しあってもなかったが、これからの白倉では、養蚕、たばこ、酪農、肉牛などをやって行くべきでないかとのことだが、それにしてもこれからは「協業化」を抜きにしては考えられないと思うが……」

「確かにそうだ。とくにこれからすべての人が農業専業でやれるわけではない。専業でやれる人は専業でやれるように努力する。やれない人は現在の農業経営の内容を整理したりすれば余力が余ってくる。その分で他産業に働いて所得をえるようにして行くべきでないか」

白倉の条件にあったものとして考えられるが……。

か。こんど西部地区に町の誘致工場としてオカムラ家具の工場がくることになった。そこに働くことも考えるべきでないか……、このような兼業農業にして行くにも、あるいは専業で行くにも、「協業化」は絶対必要だ」

「しかし、協業といっても難かしい。若い人たちで和牛の共同肥育を考えた時も最後には親の反対で座折した。協業がどうしても必要だということはわかるが、どうやって進めるのかわからない」

「これからの白倉を背負って行くのは俺たち若い者なんだ、という自覚を持つべきだろう。そして若い人同志で何回も話しあいをすることだ。親たちとの話しあいも必要だろう。これからは協業でなければどうにもならないのだ、ということを経営者たちにも分かってもら

未来に夢を持つて

「これからは「協業化」を考えない限り、どうにもやって行けなくなるという話が出た。そして、どんな作目をとり入れるかでは、この白倉の条件にあったものを選ぶことだろうということだった。しかし、協業化をすすめるにはどう



えると思う」

「しかし、協業をやるには最初から大がかりにやると失敗する。めん密な計画をたてて、三年後にはこれだけ、五年後にはこれだけやる、といったようにして最終目標を五・六年後においてやるべきではないか」

するか、それは大きな課題だ。これから白倉で農業をやるうとする者同志、とくに将来の担い手である若い人たち同志でもっと話しあひ研究しあうことだろう。親たちとの話しあひも必要だろうし、役場や農協、あるいは普及所の先生

などに相談相手としてきてもらうことも考えるべきでないか。そして、もっと未来に夢を持つべきだろう」

「こんな山村の中で夢を持てと言われても無理ではないのか」

「この白倉に骨を埋めるんだという決意をすれば、いろんな案も生まれてくるし、夢もでてくるんではないか。たとえば、白倉は農業だけでなく、将来は観光地、別荘地帯としても有望だ。白倉の上部を通る昔の朝日参道を自動車道に切り開けば、鳥原まですばらしいハイウェイができる。雪質によつてはスキー場もできるだろうしゴルフ場だって考えられる。道路

出かせぎのない生活を

「いろいろ話が出たが、なんといつても白倉では出かせぎ者が多いことも悩みだ。出かせぎがあるから新しい農業経営が進まないのだとも思う」

「確かにそうだ。出かせぎがあるから農業にも身がはいらないのではないか。苦勞して農業をするよりも、出かせぎに行つた方がよいと安易に考えているとすれば、将来は困つたことになるだろう」

「やはり、出かせぎをきつぱりやめるといふ考えでなければ、農業の規模拡大も協業化もできないのではないか。出かせぎだつていつまで続くかわからないし、出かせぎしなければならぬようでは、

ができれば放牧に必要な水を持つてこれる。そうならば、ここにすばらしい楽園ができあがることになるのではないか。これは単なる夢でなく、やがてはそう言う世の中がやってくるだろうと思う」

「未来のことを夢みるのもよいが現実の問題として、今後の営農をどうやって行くかといふべきだ」

「やはりお互いに話しあひをするのも一つの方法だろう。またアイデアとして、白倉だけにしかないもの、たとえば観光と結びつけたぜんまい、わらび、うどんなどの山菜栽培も考えてみるべきでないか」

「これからの農業は困ると思う」話しあひは夜の更けるのも忘れて続けられた。やはり、白倉の青年たちは、なんとか農業をやり立てていきたいと思ひながらも、いろんな問題にぶつかって悩んでおられた。白倉の条件を生かした農業をすすめるべきではない。それには協業化を考えることだ。自分達同志の、親たちとの話しあひもやるべきだ。といった課題なども多く提起された。

こんど話しあひがきつかけとなつて、白倉地区の青年たちが大いに奮起されることを祈りたい。

子どもと遊びを考へる

子供の学習、しつけなどからみると案外なおざりにされている子供の遊びについて、その価値とか、考え方を分折けんとうをして、親としてどんな心がまえが必要か、といったことについてみんなで考えてみたいと思う。

遊びをどのように

とらえたらよいだろうか

解放された楽しい場

学校の授業が終わり、体育館、グラウンドでの自由に走りまわる嬉しそうな姿、放課後神社等の空地で泥まみれの手をしながら、ビー玉遊びに夢中になっている姿をみる時、子どもの遊びこそ誰からも規制を受けず完全に解放された楽しい場であり、自分の個性を充分発揮できる場であります。

土の香りを知らない都会の子どもこそ実に気の毒に考えられます

遊びは完全な協同体

子どもひとりではポツンと家にいることは僻地によくあることです。が、テレビをみるとか、読書をしているとか、自分の個性を外に発散させるいわゆる遊びではなく、自分の心の中にとじこもる姿であ

って遊びとはいえないと思います。遊びには必ず友達がおき、集団の中の一員として存在するものです。したがって協同精神、仲間意識等の人間として必要な価値はそうした遊びの中でつくられる場合が非常に多いものです。

遊んでいるうちに社会性が てくる

保育園又は小学校の入学式によくみられることですが、どうしても母の膝元からはなれて、自分の足で集団の中に入ることができない子どもがみられますが、こうした現象は考えさせられることであり、親自身、過保護の現実を深く反省しなければならぬ点だと思います。また青年の家などで研修する若人の中にもサークル活動に

どうしてもとけこめない青年がおり、しかも年々増していく傾向にあるというのを聞く時、幼少の頃から勉強という檻の中にとじこめられて遊びを知らずに成長したために、社会性が欠けたのではなからうか。社会構造が進むにつれて、益々社会性が強調される時、人間阻害の子どもが増大していくことは深く考えなければならぬことだと思えます。

遊びには一定のルールがある

縄跳びにしても、ビー玉遊びにしても、子どもなりにつくったルールまたは、その地域に昔から伝わるきまりがあり、これを守らないと遊びの集団に入ることができません。したがって、きまりにしたがう精神が養われてきます。

英国では、この遊びのきまりを破ったりするととても重い犯罪に

少なすぎる

子どもと遊ぶ時間

親子のきずなを一層強くするためにも、また子どもからの信頼をますためにもいっしょになって遊ぶことが大切だと思います。

みるそうです。例えば、五、六人の女の子がボール遊びをしている時、男の子がやってきてボールをとり上げるようなことは、よく我が国ではみられるが、英国では、秩序を乱すものとして重要視するそれで、ルーズな私達の社会では考慮しなければならぬことと思えます。

個性がはつきりわかる

解放感を味わう遊び位個性をまらだしにする時はありません。

ルールを破るわがままな子、何時も勝たないと泣きだして中断してしまう子、トランプ遊びには何時も人にすがるうとする依頼心の強い子、ポツンと仲間からはなれ指をくわえている孤独の子、よく仲間から自分の気に入らない子を除外しようとする子。

こうした性格を把握するには、遊びを観察することが最もよいのです。

学校でも先生方は子どもといっしょに遊ぶ機会をできるだけつくり、集団の中で個性を把握しようとしております。

晴やかに成人式

二百名が大人の仲間入り

第二十二回目をむかえた朝日町の成人式は、さる四月二十六日朝日分校を会場にして開かれた。

新しく大人の仲間入りをされた成人者は、男女あわせて二百名で会場は晴着姿の若人でうずまつた。

志藤町長からは、「みなさんは終戦後の困難な時期に育つてこられた。しかし、現今の世情もまた非常に複雑で難かしいと言える。こうした時期にあつて本心に住みよい郷土を開いて行くには諸君のような若さが要だ。立派な郷土の担手として大いに若い力を発揮してほしい」というあいさつがあり、成人代表からは「郷土の担い手であるという自覚ががんばります」という誓いの言葉があつた。

【誓いの言葉をのべる 成人代表者】





思います。

ただここで気をつけなければいけないことは、子どもを喜ばそうとして何時でも、子どもに勝をゆずることが果してよいかどうかという事です。

この点は説明を加える必要もないことです。こうしたことは何処の家庭でも行なわれ、自分では気づかぬうちに子どもには悪い習慣を与えてしまうことになりま

遊びの現状とその傾向

地域別の特徴が非常にすくなく

昔から伝わったその地方独特の遊び、情緒豊かな歌唱に合わせたカクレンボ、お手玉、縄跳びなど数多くあったが、今はその姿もうすれてきていることは誠にさびし

い気がします。これも学校体育、テレビ等の影響によるもので、現代の子の感覚は何処も共通しているためと思われま

町の子ほど遊びの種類は多い

立木・宮宿・大谷・水本と四地域にわたり、遊び群を調査してみ

たが、宮宿・大谷にくらべ、立木地域はその数が減少し、水本にいくと更に数が減っていくような気がする。しかし同じ町といっても山形の子

遊び場を考えると

交通が頻繁になるにつれ、子どもの自由性を益々追いやろうとしている。僻地といえども車の通る量は多く、子どもの路上遊戯等とはとも考えることができないし、自転車

のりさえ危険きわまりないのが現実であります。

四月十三日付の新聞に議会での大

のびのびとした成長発達を

過日NHKテレビで放送された

遊ばせることの大切さ

男女の差がなくなっている

最近の遊びで不思議に思われることは、マリつき遊びは殆どなくな

にかく男女の遊びの区別がなくなり、男のみ、女のみといったグループがなくなり、遊びの性質によ

り、男のみ、女のみといったグループがなくなり、遊びの性質によ

山遊びは余りしていない

これも不思議なことであるが、自分の住んでいる山には魅力を持

作物協調委員
きまろ
中部地区
長岡泰一(宮宿農協) 清野四郎(四の沢) 清野喜太郎(四の沢) 今井権三郎(前田沢) 菅井広(和合) 鈴木幸一(宮宿)
西部地区
松田正蔵(西農協) 長岡玉治(同) 阿部勝秋(常盤) 長岡正元(常盤) 海野久司(長沼) 鈴木哲男(能中) 長岡源(常盤)
北部地区
古沢開(大谷農協) 長岡豊松(大暮山) 白田綱右門(大谷) 遠藤祐吉(舟渡) 堀忠男(同) 五十嵐祐太(大谷)
川村参事(町農業共済組合) 以上のような委員をもって町作物協調委員会がつけられている。
たばこ、果樹、ホップなどの耕作と桑園などの間に、消毒による被害が発生したり、いろんなトラブルがおこりがちであるが、農家のみなさん

もそうした問題があった場合には調定委員の方に相談されると共に大いに利用してほしいと望んでいる。

誕生する農業者年金

農業の若返りねらう

この法案が成立すると、来年の一月から農業者年金として発足することになる。そこで今月は、農業者年金制度のあらましを紹介してみたいと思う。

農業者基金の事業とは

◎農業者年金と国民年金の関係

①今までの国民年金は定額給付（納めた年数で額が変わる）でしたが、国民年金法の改正が行なわれて、掛金月額四百五十円（七月から）になり、給付も二十五年拠出で月額八千円の年金に増額されました。また、任意加入として新たに掛金月三百五十円、二十五年拠

農業者年金は、農業政策を進め

る上で必要な年金を、この国民年金にさらに上積みしようとするものなのです。（図参照）

どう
いう
人
が

加入するか

当然加入

当然加入しなければならぬ人は、五畝以上の耕地を持っている農家（所有権または耕作権を合せて）の経営主で、国民年金に入っ

ている人です。

任意加入

。当然加入の経営面積以下であつても、その経営内容が当然加入農家と同一いどである場合

。農業生産法人の常時従業者である組合員で、生産法人の平均経営面積と個人の経営面積の合計が五戸以上である者

		国民年金基金	プラスアルファ (自前年金)	農業者年金基金	プラスアルファ (政策年金)
	所得比例給付 (任意)		所得比例給付		国民年金 所得比例給付
定額給付	定額給付		定額給付		国民年金 定額給付
今までの 国民年金			国民年金基金 をつくる場合		

こんど改正になった国民年金

国民年金	給付	65才
厚生年金	退職すれば給付	退職しなければ、国庫負担(2割)を除いた8割年金 65才
農業者年金	経営移譲すれば給付	経営移譲しなければ、国庫負担を除いた分の年金(国年プラス) 65才

。後継者（直系尊属、子や孫のうち一名）

被保險者

農地の権利名義人でなければなら
りません。

当然加入の資格のある者

当然加入の資格があつても農業を続けることが著しく困難と認められるときは加入しなくともよい

ことになっている。その他経営主で五戸以上の農家は当然加入をしなければなりません。

国民年金の所得比例加入

農業者年金にはいる人は国民年金の所得比例（本来ならば任意加入）に必ず加入しなければなりません。

どんな年金が

もらえるか

農業者年金に加入すると①経営移譲年金②農業者老令年金③死亡一時金④脱退一時金などがもらえます。また、年金額は国民年金と同じように国民の生活水準やその他の事情によって五年毎に改訂が行なわれます。

年金はいつか
もらえるか

經營移讓年金

保険料を納めた期間が、二十年以上ある加入者、または加入者であつた者に対し、経営移譲を要件に①六十歳までに経営移譲したときは六十歳から②六十歳から六十歳までの間に経営移譲したときはその時点から支給されます。

経営移譲とはどんなことかとい
うと、耕作していた農地の所有権
または耕作権を移譲し、耕作等の
事業を廃止または縮小することを
言い、移譲の相手として①第三者



上郷小 阿部 寿行

(後継者でない農業者年金の加入者、農業者年金基金、農地保有合理化法人等) ②後継者(子や孫)とがあり、任意加入の後継者がいる場合はその者に限られます

農業者老令年金

経営移譲の有無にかかわらず、二十年以上拠出者で六十五歳から支給されます。

年金給付の経過特例

農業年金をもらうには二十年以上の掛金した期間が必要ですが、昭和四十六年一月一日現在で三十六歳以上の者については、その年令に応じて五年から十九年あればよいといった特例がもうけられています

年金はいくらもらえるか

脱退一時金および死亡一時金
掛金した期間三年以上の者が脱

経営移譲年金

掛金した期間二十年の人が六十歳で経営を移譲すれば、月額一万六千円が支給され、六十五歳になると国民年金とあわせて支給されます。

農業者老令年金

移譲年金の方は六十歳から六十四歳までを対象としておりますが六十五歳からは、国民年金とあわせて農業者老令年金がもらえます。掛金二十年の人が六十五歳で経営移譲をしておれば月額一万八千四百円、移譲しない場合は一万六千八百円が給付されます。

経過的特別者の場合
現在の国民年金と同じように、年令の関係で掛金期間が二十年未

給付の月額

加入員期間		5年	20年	25年	30年
給付の種類					
60~64才の給付	経営移譲を要件とする給付	円 8,000	円 16,000	円 20,000	円 24,000
65才以降の給付	経営移譲(65才まで)を要件とする給付	円 800	円 1,600	円 2,000	円 2,400
	経営移譲の有無にかかわらず行なう給付	900	3,600	4,500	5,400
	国民年金所得比例給付	900	3,600	4,500	5,400
	国民年金定額給付 ※	6,000	9,600	11,200	12,800
計		8,600	18,400	22,200	26,000

※国民定額給付は、36年発足のため、加入員期間に10年分を加えて計算されている。国民定額は、25年拠出(最低資格期間)で月額8,000円、30年で9,600円、35年で11,200円、40年で12,800円となる。

【算式】 (納付月数×320円) = 給付年額

満になる人はその期間に応じた年金が支給されます。

掛金はいくらか

加入者本人と国庫負担の二本立てで行なわれ、経営移譲年金の給付に要する費用の三分の一を国庫で負担することになりました。

また掛金は国民年金分を合せても夫婦で二千元をこえない額にすることになりました。

つまり、主人の国民年金定額分四百五十円、妻の分四百五十円、主人の国民年金所得比例分三百五十円、主人の農業者年金分七百五十円といったようになります。

電話の上手な利用

◎早朝(午前六時三〇分から午前八時頃まで)と夜間(午後八時から午後九時頃まで)は電話が大変こみあっております。
できるだけこみあう時間をさけて利用いたしましょう。
◎受話器をはずす前にまず電話番号をたしかめて、ダイヤルは「急がず・休まず・正確」にまわしましょう。

寒河江電報電話局

広報あさひ

一六二号

昭和43年5月21日第三種郵便物認可

発行所

山形県朝日町役場

発行者

広報委員会

委員長

菅井

雅

月一回10日発行

一部20円



山火事を防ごう

これからは山火事の多い季節です。山に入つての焚火、たばこ火には十分気をつけましよう。

このほど西舟渡地区では、新しい消防ポンプを購入、部落の消防団員や関係者が出て放水式をおこなった。

こんど購入したポンプは、小型

新しいポンプを

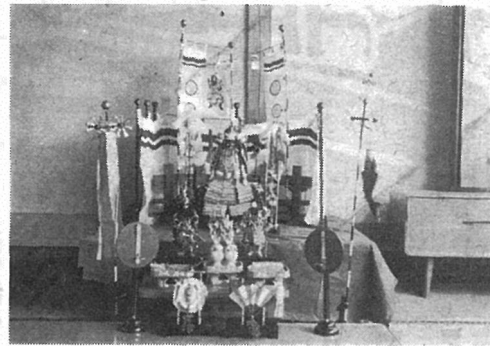
購入

西舟渡

動力ポンプB三級、価格三十八万五千円(三割部落負担)のもので放水テストの結果は上々、これで万一の火災発生時にも安心していられると地区の人たちは新しいポンプの購入を喜んでおられた。

五月人形贈られる

このほど、町立北部保育所にすばらしい五月人形(一式)が届けられた。贈り主は、東京都板橋区にお住まいの大野令明さん(大谷四の川村一雄さんの親戚の方)とおっしゃる方で「新しいものではないが少しでも子どもたちに喜んでもらえれば……」と云って寄贈されたとのこと、寄贈を受けた保育所では大切に使用させていただきますと云って心から感謝している。



【贈られた五月人形】

婦人会で慈善運動

先ごろ、町連合婦人会では「精神薄弱児のために少しでも役立てよう」と全会員の協力でピンチホルダー(特殊な洗濯ばさみ)のあつせんを行なった。そして、その手数料九千五百円をそえた子どもたちのために使つて下さいと町に寄贈された町では、婦人会の善意に感謝

し早速朝日町手をつなぐ親の会(精神薄弱児者をもつ親の会)のために使わせていただくことになった。

社会福祉協議会に

贈りもの

このほど、大町の鈴木ヨシさん(福昌寺住職母堂)が役場を訪ずれ「恵まれない人たちのために使つて下さい」と云って現金三万円を寄贈された。

鈴木さんは先頃、交通事故にあつて入院されたが、その快気祝をする代りにこの寄贈をなされたとのこと、町では鈴木さんの善意に心から感謝している

ハツ沼の

阿部さんから

このほどハツ沼の阿部喜寿さんが役場を訪ずれ「快気祝をする代りに……」と現金五千元を寄贈されました。

大暮山の

阿部さんからも

このほど大暮山の阿部健一郎さんが役場を訪ずれ「恵まれない人たちのために使つて下さい」と云って現金三千元を寄贈されました。

戸籍の窓

出生

昭和45年4月1日～4月30日まで
部落氏 名 父 名 続柄
石須部長岡 重幸 重信 長男
和合 佐藤 伸子 賢一 三女
上郷 渡辺佐代子 長蔵 二女
" 松尾 直広 国勝 二男
馬神 白田 秀和 多喜男 長男
大谷 志藤まゆみ 勝 長女
石須部長岡 文子 四郎 長女
常盤 伊藤 るみ 栄三郎 二女
高田 鈴木美智子 満 長女
大滝 崎村 妙子 敏彦 長女
大沼 最上ゆう子 淳雄 二女
栗木沢遠藤 純子 貞悦 二女
白倉 渡辺ゆかり 忠雄 二女

死亡

昭和45年4月1日～4月30日まで
部落氏 名 年令 世帯主
部落氏 名 年令 世帯主
助ノ巻鈴木吉三郎 85 吉夫
松 程阿部 げん 正志
太 郎長岡 せつ 清美
大 谷白田 十郎 都一郎
" 白田 十郎 貞子
常盤 加藤 正吉 正一
大 谷桑原 末吉 きみあ
宮 郷渡辺 長吉 長蔵
宮 宿鈴木つるよ 長治
白 倉渡辺すみ江 栄三郎
常盤 伊藤 るみ 三郎
宮 宿長岡 万吉 五郎

婚姻

昭和45年4月1日～4月30日まで
大谷 宮信
白田 利幸 志藤美代子
大谷 信一 菅井 勇子
高田 信一 菅井 勇子
佐竹 庄吉 佐竹 敦子
助ノ巻 村山千代推 佐藤まき子
和合 和合 和合
遠藤 達 菅井 松美
和合 和合 和合
大竹 和推 鈴木とき子
三 中 和合 和合
田川 順一 白田 秋子